

未成年の予防接種において保護者が同伴されない場合の説明・同意書

予防接種に当たり、接種対象者は効果・安全性・副反応の可能性を十分に理解・納得いただく必要があります。特に未成年のワクチン接種は接種後の急な症状の出現に備えるためにも、保護者の同伴を原則としています。保護者の同伴なしに、お子様に予防接種を受けさせる場合には、あらかじめ保護者が接種する予防接種の効果・安全性・副反応の可能性を理解・同意頂き、本書類に記入・持参することを必須としております。また、接種を受けさせるお子様に対しても、保護者の責任のもと、お子様本人が納得したうえで、予防接種を受けさせてください。もし、接種する予防接種の効果・安全性・副反応の可能性を理解できない場合や、接種を受けさせたいお子様が納得していない場合には、必ず保護者が同伴するようにしてください。なお、保護者が接種を受けさせると判断していた場合にも、お子様がその場で拒否した場合や、医師が接種の適応がないと判断した場合には、実施されないことがありますので、ご了承ください。

【持ちもの】

本紙(未成年の予防接種において保護者が同伴されない場合の説明・同意書)

予防接種予診票(保護者の方がご記入ください)、保険証・母子手帳

【注意点】

- ・2週間以内の発熱、同意書・予診票に保護者の同意のサインがない場合は、予防接種をお受けすることができません。
- ・また、治療中の疾患がある場合やその当日の体調によっては、接種される方の安全、体調を優先し、医師の判断により、接種ができない場合がございますので、ご了承ください。
- ・接種後は急な体調の変化の有無を確認するために15分程度、院内で経過を診させていただきます。
- ・予約の時間には余裕を持ってお越しください。

未成年単独接種における保護者同意書

私はインフルエンザの予防接種を受けさせるに当たって本説明書を読み、予防接種の目的、効果、安全性について理解しました。本紙を持参する本人の保護者としてインフルエンザワクチンを接種することに同意します。

被接種者

日付： 年 月 日

氏名： _____

生年月日 年 月 日

住所： _____

保護者(被接種者との続柄：)

氏名： _____

緊急時連絡先(接種当日連絡のつく番号)： _____